

新しい釜石市総合計画策定概要について



釜石市総務企画部総合政策課

新しい釜石市総合計画(令和3年度～令和12年度)の概要 計画の構成

基本構想 (10年)

長期的な釜石市の将来を展望し、市民みんなで目指す将来像と、その実現に向けて取り組む政策の基本方向を明らかにするものです。
なお、基本構想は議会の議決事項となる予定です。
〔計画期間：令和3年度から令和12年度までの10年〕

基本計画 (10年)

基本構想の実効性を確保するため、重点的・優先的に取り組むべき政策や具体的な施策、重点業績成果指標(KPI)を盛り込むものです。施策の達成度や社会状況の変化を踏まえ、必要に応じて中間年で見直しを行います。
〔計画期間：令和3年度から令和12年度までの10年〕

実施計画 (3年)

施策を実施するため、緊急性・重要性・必要性及び財政状況などを考慮し、毎年向こう3ヶ年に実施する事業を示し、その進捗状況に合わせて毎年度見直しを行うものです。
〔計画期間：令和3年度から令和5年度まで 以降毎年向こう3ヶ年計画を策定〕

年度

令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度 令和11年度 令和12年度

基本構想(10年)

基本計画(10年)

実施計画(3年)

実施計画(3年)

目標値

Do (実行) Check (評価)

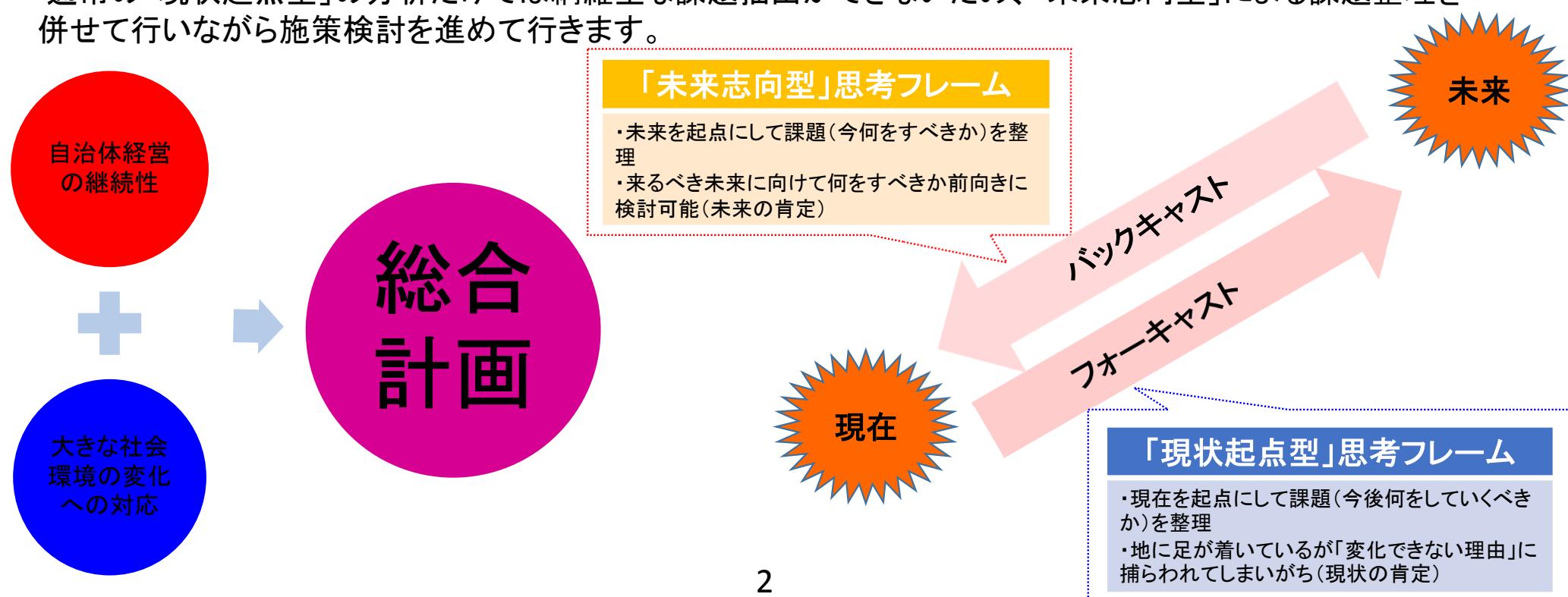
Plan (計画) Action (改善)

必要に応じて見直し

1

新しい釜石市総合計画策定の基本的な考え方

- これまで想像もしなかったような大きな社会環境の変化が訪れており、これらの社会環境の変化に対応した自治体経営が求められています。
- 一方で、これまで継続されてきた行政サービスをどのように維持し、また見直していくかも自治体経営に求められる大きな課題です。
- 通常の「現状起点型」の分析だけでは網羅型な課題抽出ができないため、「未来志向型」による課題整理を併せて行いながら施策検討を進めて行きます。



新しい釜石市総合計画策定体制図

新しい総合計画を作成するにあたって、市では、その策定のプロセスが大切だと考えます。

市民の皆さんと一緒に「あるべきまちの姿」を描き、共有し、その実現に向けてともに取り組んでいけるような総合計画にするため、次の組織体制で策定作業を進めていきます。

市民が主体的に政策形成プロセスに関わり、合意形成しながら、計画の策定を進めていきます。かまいし未来づくり委員会は、創造的なアイディアを生み出せるとされているワークショップを主とした協議方法により、一人ひとりのアイディアを尊重しながら開催していきます。

かまいし未来づくり委員会

- ・市民ワークショップ
 - ex.)「保健福祉」「教育文化」「産業雇用」「生活環境」「危機対応」「地域づくり」をテーマに協議
- ・高校生とのワークショップ
 - ex.)釜石コンパス
- ・小中学生とのワークショップ
 - ex.)かまいし絆会議

